

＜効果的で効率的な情報発信＞

効果的で効率的な情報発信

全国上下水道コンサルタント協会専務理事

内田 勉



1、水コン協の沿革... 全国上下水道コンサルタント協会専務理事... 昭和60年4月に臨時は、昭和平成30年4月の厚生省及び建設省の許可を受けて社団法人としました。現在の会員数は

116名で、支部所属する会員は延べ108名とあります。2、組織の概要... 水コン協では、平成27年5月に「水コン協ビジョン2015〜2022」を定め、本ビジョンに基づき、令和元年5月に第二期中期行動計画（2019〜2021）を策定しました。本中期行動計画では、「水システムを通して地域・都市を豊かに」、「業務領域を拡大し変化する課題に適時的確に対応」、「災害時緊急時に前面で素早く対応」など会員とともに取り組む10の主要行動を定め、現在、これに基づき様々な活動を行っています。本部は、13の委員会、部会を設置し、調査研究の成果を資料としてとりまとめ、全国の7支部では、その資料を活用して講習会・研修会開催などの協会活動に取り組みしています。公益法人として上下水道事業の持続発展に貢献するため、今後とも、コンサルタント技術者の資質向上、次世代の人材確保・育成な

参加いただきたくて考えています。毎年度8月から10月にかけて、上下水道事業者に対し、要望と提案活動を行っています。改正品確認により、公共工事の品質確保において、調査設計業務の品質確保が重要とされました。本法に... 掲げられた項目の実現に向けては、人材確保、育成支援として大学への訪問や資料配布を行っています。新卒者対象に上下水道事業者への理解促進や水コンサルタントの魅力を紹介する「水コンサルタントの認知度を高める」とを目的としています。5、今年度の重点的な取り組み... 今年度、水コン協は、より効果的で効率的な情報発信を行っていくこととして、調査・研究を主な拡充して公益に資する情報発信を行っています。労働の上限規制が全てのタントの積極的な活用、働き方改革及び災害時対応に向けた環境整備、適正な予定価格の設定と技術力によるコンサルタントの選定等について引き続き協力をお願いしています。水コン協は、今後も引き続き、調査研究・資料収集、普及啓発・人材育成、災害時支援等の公益活動として、持続可能な社会に向けたコンサル

化を図ってきました。一刻も早くコロナ禍が終息し、通常の活動が実施できることを期待しています。調査研究成果の公表については、本部と支部が連携し、全国において公開型の講習会を開催しています。HP等で開催情報を公表していますので、多くの皆様にご